

総務文教常任委員長報告

(H29.6.26)

総務文教常任委員会に付託されました議案について、審査の経過概要と結果を報告いたします。

まず、**報告第1号**から**報告第4号**については、地方自治法第179条の規定に基づき、専決処分されたものであります。

報告第1号、亀岡市税条例の一部改正については、地方税法等の一部改正に伴うものであり、その主な内容は、耐震改修を行った特定耐震基準適合住宅等の固定資産税減額に係る申告書についての規定を設けることや、軽自動車税のグリーン化特例についての適用期限を、平成31年3月31日まで2年間延長すること等の改正を行ったものであります。

別段異論なく、採決の結果は、全員をもって承認すべきものと決定しました。

報告第2号、亀岡市立幼稚園条例の一部改正については、子ども・子育て支援法施行令の一部改正に伴うものであり、その主な内容は、一定所得までの世帯の第2子について、保育料を無料とするとともに、一定所得までのひとり親世帯等について、保育料の負担軽減措置を拡大したこと等の改正を行ったものであります。

別段異論なく、採決の結果は、全員をもって承認すべきものと決定しまし

た。

報告第3号、職員の育児休業等に関する条例の一部改正については、人事院規則の一部改正に伴うものであり、その主な内容は、職員の育児休業等の取得要件について、所要の規定整備を行ったものであります。

別段異論なく、採決の結果は、全員をもって承認すべきものと決定しました。

報告第4号、職員の退職手当に関する条例の一部改正については、雇用保険法等の一部改正に伴うものであり、その主な内容は、一定の要件に該当する退職者に対して、退職手当の給付日数を延長すること等の改正を行ったものであります。

別段異論なく、採決の結果は、全員をもって承認すべきものと決定しました。

次に、**第1号議案、平成29年度亀岡市一般会計補正予算の本委員会所管分について**、その主な内容は、

民生費では、一般財団法人 自治総合センターのコミュニティ助成金を活用し、犬甘野児童公園にユニバーサルデザインの複合遊具を設置するための、地域振興事業費の増額補正、

消防費では、国庫補助金の内示を受けて、耐震性貯水槽を新設するための、消防施設整備事業費の増額補正、であります。

別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、**第2号議案、亀岡市防災会議条例の一部改正については**、防災及び減災対策の充実を図ることを目的として、幅広い分野から意見を聴取するため、委員を拡充し、その定数を「35人以内」から「40人以内」にしようとするものであり、別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、**第3号議案、亀岡市消防団員等公務災害補償条例の一部改正については**、非常勤消防団員等に係る損害賠償の基準を定める政令の一部改正に伴い、損害補償の補償基礎額について、扶養親族がある場合における加算額、及び加算対象区分を改正しようとするものであります。

別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

以上、簡単であります、本委員会の報告といたします。

ユニバーサルデザイン遊具と耐震性貯水槽の設置

一般会計補正予算

可決（全員賛成）

・地域振興事業費

1000万円増額

地方自治の振興・住民福祉の増進に寄与することを目的として設置されている、（二財）自治総合センターのコミュニティ助成金を活用し、犬甘野児童公園にユニバーサルデザインの遊具を設置するための増額補正。

【主な質疑】

問ユニバーサルデザインの遊具とは、どのようなものか。

答できるだけ多くの人々が利用しやすく、また、ケガなどのないように、より安全面に配慮した遊具である。

問具体的にどのような遊具を設置するのか。

答補正予算が可決された後、地元と協議し、

具体的に遊具の設置を進めていきたい。

・消防施設整備事業費

1486万1千円増額

額

国庫補助金の内示を受けて、耐震性貯水槽を設置するための増額補正。設置は2基で、篠町および千歳町内に設置を予定している。**子ども・子育て支援の充実**

亀岡市立幼稚園条例の一部改正

承認（全員賛成）

一定所得までの世帯の第2子について、保育料を無料とするとともに、一定所得までのひとり親世帯などについて、保育料の負担軽減措置を拡大するなどの改正を行ったもの。

なお、この条例の一部改正は、地方自治法の規定に基づき、平成29年3月31日に専決処分され、4月1日からすでに施行されている。

視察レポート

（5月9日～11日）

◇千葉県習志野市

バランスシート探検隊事業について

◇千葉県いすみ市

移住定住促進事業について

◇神奈川県藤沢市

中学校における選択制デリバリー給食について

習志野市では、今後の財政運営や公共施設管理などについて、市民と一緒に考えていくために、高校生にもわかる視点で貸借対照表（バランスシート）を読み解くこととした、「バランスシート探検隊事業」について学びました。

いすみ市では、人口減少に歯止めをかけるための移住定住促進事業として、「空き家バンク」、「お試し住宅・田舎暮らし体験プログラ

ム」などの先進的な取り組みを学びました。藤沢市では、中学校における選択制デリバリー給食について、実施に至るまでの経緯や、成長期の中学生の栄養バランスに配慮した献立、予約システムなどを学びました。

今後、本市の現状を踏まえ、さらなる施策充実につなげていきたいと思えます。

総務文教常任委員会委員長

竹田 幸生

(写真)

